

日本山岳救助機構 (jRO:ジロー) 会員の皆様

2019年度事後分担金のご通知とご報告 および 2018年事後分担金の精算についてのお知らせ

① 2019年度事後分担金のご通知 **300円**

- **会員期間開始日が属する計算期間の、上記の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。**
 - ・事後分担金とは、各年の1月1日から12月31日の間に発生した、カバレッジ制度の遭難救助費用補填金及び臨時費用補填金(以下補てん金と略)の総額を会員総数で除したものです。
 - ・2019年度の計算期間は2019年1月1日～12月31日です。この期間に会員期間が開始された会員の皆様に、1会員あたり300円の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。
 - ・団体・家族会員の方は、それぞれの会員期間ではなく、本会員の会員期間開始日(管理期間)が2019年1月1日～12月31日の場合に、2019年の事後分担金のお支払いをお願いいたします(現行規約上、団体・家族各会員の開始日が2019年に属していない場合でも、本会員開始日が2019年の場合には、2019年の事後分担金をご負担いただいております。ご了承をお願いいたします)。
 - ・事後分担金には団体割引・家族割引等はありません。
 - ・計算方法についてはP2～3をご参照ください。

② 2018年補てん金額の確定による相殺(割引)額 **▲100円**

- **対象となるのは2019年のjRO会員、かつ2018年事後分担金をお支払済みの会員の方です。**
(退会者等を除きます。下記※注をご参照ください。)

- ・2018年度の事後分担金は300円と算出しましたが、2019年10月15日現在補てん金総額がほぼ確定し、結果として事後分担金としてお支払いいただいた金額の総額が2018年度補てん金総額を上回ったため、2018年更新会員の方に**▲100円**を相殺(割引)させていただきます。

※注:2019年にjRO会員で、かつ2018年事後分担金をお支払いいただいた方でも、下記の方の場合はシステムの関係上相殺処理を行うことができません。ご了承をお願いします。

- ・すでに退会済、または2019年はjRO会員でない方
2019年度事後分担金のご案内および2020年度への更新のご案内が送れない場合等
- ・2018年の本会員(団体、家族会員の本会員)がすでに退会している方
2018年は個人会員で2019年更新時に個人を退会し、新たに団体へ加入した場合等
- ・2018年と2019年では、本会員が異なる方
所属の団体を変更した場合、個人会員を退会后、家族会員として再入会等

- 各会員に関しての金額の詳細は2019年度から2020年度への更新のご案内をご参照ください。
- 2018年事後分担金の確定額計算については別紙2018年補てん金お支払い実績表(確定)をご参照ください。

**2019年のjRO会員、かつ2018年事後分担金をお支払済みの方の2019年事後分担金は、
1会員あたり200円(300円－100円＝200円)となります。**

この件のお問い合わせはjRO事務センターへお願いいたします。

2019年補てん金お支払い実績表(★未請求含む)

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	谷川岳 天神尾根	天神尾根をスキーで滑走中雪崩に巻き込まれる。悪天候のため捜索活動が出来ず発生2日後に発見される。窒息死。	死亡	¥349,930
1	志賀高原 焼額山	4名パーティで滑走中、うち一人がツリーホールに落下。他メンバーは気づかず滑走。遭難者から他メンバーへ無線にて救助要請。メンバーからさらに焼額山スキー場に救助要請、捜索・救助活動を行った。	特になし	¥115,000
2	北アルプス 白馬乗鞍岳	東斜面を山スキーで登山中に2,400m付近にて雪崩に遭遇し完全埋没。付近登山者により救助要請。大腿骨骨折、肺挫傷。	入院	¥302,578
2	白山	パーティーとはぐれてしまい道迷い。スキーが壊れる等のトラブルや雪庇や雪崩に巻き込まれる。本人から携帯電話にて救助要請、2泊ビバーク後に発見され救助される。GPS情報のやりとりあり。謝礼費用発生。	特になし	¥2,700
2	中央アルプス越百山～南駒ヶ岳	滑落し死亡。遺体搬送費用請求予定。	死亡	¥150,000★
2	中央アルプス 木曾駒ヶ岳	※ 単独 乗越浄土付近で50mほど滑落。その際右足首骨折。付近登山者により救助要請、民間救助隊により救助活動が行われた。	入院	¥462,394
2	箱根山台ヶ岳	登山中に言葉の伝達が思うようにならず下山。右脳出血、歩行不能となる。同行者の担送により下山。	入院	¥20,000★
2	越後湯沢 神楽ヶ峰	反射板ルートで滑走予定だったが視界不良のため棒沢付近へ滑走してしまい道迷い。ビバーク2泊あり。同じ山小屋に宿泊予定だった友人より救助要請。	負傷	¥100,000★
2	上州武尊	※ 単独 詳細不明。天候不良のため道迷いしたと思われる。警察や民間ヘリ等による捜索が行われたが発見に至らず。事故発生約3週間後、バックカントリースキーヤーにより発見される。	死亡	¥1,757,920
2	北アルプス 乗鞍岳	位ヶ原山荘から下山中に転倒、骨折。ソリとスノーモービルでのけん引、救急車を乗り継ぎ最寄り医療機関へ収容。	負傷	¥309,658
2	八ヶ岳	登山中に脳こうそくで倒れる。同行者による救助要請。最寄医療機関まで警察ヘリにて搬送。	入院	¥138,980
2	富士山	※ 単独 下山中に滑落。詳細不明。死因は頭部外傷により意識消失し凍死。	死亡	¥195,109
3	越後湯沢 神楽ヶ峰	※ 単独 山頂より山スキーで滑走中に転倒、足首をねん挫。	負傷	¥50,000★
3	燧ヶ岳	※ 単独 山スキー中に山頂付近にて雪崩に巻き込まれる。窒息死。	死亡	¥111,800
3	八ヶ岳 天狗岳	下山中に西天狗直下で滑落。左足骨折、靭帯損傷。黒百合ヒュッテスタッフの協力により、長野県警のヘリにて搬送。	入院	¥99,660
4	北海道 利尻岳	2名パーティで行動中、一名が低体温症のため行動不能となる。ビバークあり。	入院 入院	¥438,125 ¥166,190
4	埼玉県飯能市日和田山	※ 単独 詳細不明、クライミング中に滑落し死亡したと思われる。	死亡	¥34,598
4	北アルプス 唐松岳 八方尾根	※ 単独 付近登山者より滑落の通報があった。翌日、稜線付近で死亡しているのが発見された。死因は低体温症。	死亡	¥441,280
5	秩父 両神山	2名共同遭難。下山中に1名が滑落しかけている所にもう1名がとっさに手を伸ばしバランスを崩す。2名ともほぼ同時に滑落する。	入院 入院	¥60,000★ ¥60,000★
5	富士山	※ 単独 九合目付近から滑走中転倒、滑落し多発外傷のため死亡。	死亡	¥1,500,000★
5	三つ峠	屏風岩中央カンテ4P目を登はん中、ルート取りに迷い戻る途中に足をすべらせて落下。その際、左足首2ヶ所骨折。	負傷	¥100,000★
5	雨飾山	※ 単独 下山中、残雪に足が滑って30m程滑落、その際、肋骨数本の骨折と左目を切った。自力下山を試みたが17時を過ぎ行動不能となり警察へ救助要請。翌日、警察と民間救助隊により発見された。GPS情報の通信あり。	入院	¥68,416
5	乾徳山	※ 単独 下山中に後頭部を岩に強打した。	死亡	¥200,000★
5	滋賀県高島トレイル 根来坂峠	トレイルレース中に転倒、左上腕を骨折。謝礼費用発生予定。	負傷	¥100,000★
5	秩父 二子山	※ 単独 東岳に登頂後、ピストンにて下山中、鎖場で滑落した。付近登山者、救助隊に救助された後にドクターヘリにて医療機関へ収容された。	入院	¥10,000★
6	新潟県 袴腰山	※ 単独 下山中に転倒。その際左手首を骨折する。	負傷	¥50,000★
7	蔵王	※ 単独 蔵王ダム上流の葉ノ木沢を下る途中、浮き石に右足を挟まれて、右足つま先がつぶされた。入院50日。ビバーク2泊。	入院	¥350,000★

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
7	大峰山 奥駈道	※ 単独 四寸岩山の頂上から誤って高原山方向へ入る。引き返したが日没のため途中でビバーク。翌日四寸岩山付近で捜索隊と合流し付添自力下山。	特になし	¥480,125
7	多摩川水系 丹波川小室川谷	小室川谷出合より入渓。4人で遡行中に約4.7km地点のS字峡付近にて、へつり中に流される。救出して蘇生を試みるが、呼吸なしの状態だった。事故発生4日後に警察により収容される。	死亡	¥157,370
7	北海道 トムラウシ山	※ 単独 下山中に倒れ、付近登山者が警察に救助要請を行った。警察による救助後、搬送先の病院で亡くなった。急性心筋梗塞であった。	死亡	¥489,089
7	新潟県 金城山	下山中に熱中症にかかり意識を失う。消防による人力搬送後、ヘリにて病院へ搬送される。入院8日。	入院	¥10,800
7	南アルプス 赤石岳	下山中に足を滑らせ谷方向へ滑落した。	入院	¥300,000★
7	八ヶ岳 北横岳	高山病になり行動不能となる。同行者により付近山小屋へ救助要請。	特になし	¥35,720
8	秋田駒ヶ岳	※ 単独 下山中に滑落し右足首骨折。付近登山者により救助要請、消防により人力担架、救急車にて病院へ収容される。	入院	¥55,544
8	奥秩父 金山沢	滝を登はん中、滑落し滝つぼに落下、溺れる。呼吸をしていなかったため同パーティーにて心肺蘇生を実施、警察、消防へ救助要請。	入院	¥6,480
8	北アルプス 燕岳	登山道のくぼみに右足をとられ転倒。その際右足首骨折。	負傷	¥100,000★
8	山形県 船形山	※ 単独 沢沿いコースから尾根に上がる際にルートを見失い、藪尾根を登ったが岩峰上で身動きがとれなくなる。ビバーク1泊あり。翌日消防ヘリにて救助される。	特になし	¥271,979
8	飯豊連峰	※ 単独 御西岳～烏帽子岳を歩行中、登山道を踏み外し1mほど滑落。その際に左足首を負傷。	入院	¥246,042
8	笛吹川釜の沢	釜の中でおぼれる。同行者により救助要請、事故発生翌日に滝つぼの中で発見された。	死亡	¥400,000★
8	万太郎山 井戸小屋沢左俣	※ 単独 山頂直下にて滑落、ビバーク1泊あり。警察・消防へ謝礼費用発生。	負傷	¥19,351
8	北アルプス 槍ヶ岳	ツアーで下山中自立歩行ができなくなり行動不能となる。山小屋収容後、翌日ツアーガイドによる救助活動が行われた。	負傷	¥30,000★
9	南アルプス 鳳凰三山	※ 単独 中道ルートで入山、賽の河原を下る途中、道を誤り地蔵岳の裏へ進んでしまう。北沢下流の「九段の滝」上部で下降不能となった。ビバーク5泊。	入院	¥200,000★
総額 (10/15 現在) 【支払済 +★未請求 (見込) 額】				A ¥10,546,838
推計値 (10/15 現在未報告案件及び 10/16 以降発生案件に対応するため 下記参照)				B ¥16,500,000
2019 事後分担金算出の基礎数字 (事後分担金計算式の分子) A+B				C ¥27,046,838
2019 会員総数 (10/15 現在のエラー無会員総数)				D 91,067 名
2019 事後分担金 C÷D= ¥297 (端数切り捨て)				E ¥300

◎推計値 (B欄 ¥16,500,000円)の算出について

- 一般的に12月には遭難が他月に比べて多く発生し、積雪期のため捜索救助費用も高額になる傾向にあります。過去においても例えば2018年は5件、2017年は2件、2016年は4件、2015年は2件、2014年は3件、2013年は4件のカバレッジ対象となる遭難事故が発生しています。2012年の場合は、長期にわたる捜索活動を必要とする事案が発生しました。また、JRO会員数は2009年末を例とすると会員数約1万名に比べて、本年度は9.1倍の会員数(約9.1万名)となり、事故件数はそのまま9.1倍とはなることはないものの、会員が増えれば遭難件数も増加すると予想しております。
- 遭難事故の発生からその通知まで約1カ月以上かかるケースが多く、また10月までの未報告案件のあることも考慮する必要があります。
- B欄 1650万円という推計値は前記のような過去の経験値を勘案し算出したしました。
- 2019年の補てん金額の確定は2020年10月中旬を予定しております。
- 算出した事後分担金に過不足が発生した場合は、相殺または追徴処理を行う予定です。
- 別紙に2018年度補てん金お支払い実績表(確定)を掲げました。

2018年補てん金お支払い実績表(確定)

●2019年事後分担金の精算(相殺処理)金額: ▲100円

●2019年10月現在、昨年度補てん金お支払対象案件は下表以外の発生は想定できません。よって以下を2018年補てん金(カバレッジ金額)総額といたしました。

★未請求案件 (独) 単独での事故

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	黒姫山	悪雪のため下山が遅れる。スキー場パトロールから17万円請求あり。4名共同遭難、うち1名jRO会員により按分にて補てん。	特になし	¥42,500
2	八ヶ岳 ジョウゴ沢	ナイアガラ滝基部で転倒。その際左足を骨折する。	入院	¥459,840
(独) 2	北ア 八方尾根	スノーボードで滑走中に滑落したと思われる。単独での事故の為、詳細は不明。	死亡	¥245,879
2	谷川岳 西黒尾根上部	吹雪・ホワイトアウト・悪天候のため下山開始。行動不能となり雪洞内でピバーク3泊。警察と所属山岳会による救助活動が行われた。	負傷	¥76,649
2	長野県 大渚山	山スキー滑走中に立木に激突。環軸椎(首の骨)骨折、入院29日間。遭対協12万円、駆けつけ費用が発生。	入院	¥165,304
3	宝川温泉 布引山	下山の山スキー滑降時、立木に当たり右足骨折。同行者の携帯で警察へ救助要請。事故発生より約3時間後にヘリにてピックアップ。	入院	¥17,027
(独) 3	岐阜県 野谷荘司山	山スキーに出掛けたまま行方が分からなくなった。登山道の入り口では車が見つかったが、近くの谷底で遺体が発見された。	死亡	¥93,960
3	那須朝日岳	雪渓トラバース中にアイスバーン部分の雪面にアイゼンがささらずスリップし滑落。消防ヘリにて最寄り医療機関へ収容。	入院	¥100,000
3	阿弥陀岳 南稜	7名にて登はん中に滑落 7名中5名jRO会員うち3名死亡。2ピッチ目を登はん中にトップが滑落。その際中間支点が崩壊、ピレイヤーのセルフを通じて1ピッチ目の終了点も崩壊。そこにセルフをとっていた5名も滑落。1ピッチ目を登はん中のメンバーも一緒に全員滑落。滑落の衝撃によって雪崩も発生。死亡した3名は全員窒息死であった。救助費用(7名にて按分)、家族や会メンバーの駆けつけ費用、遺体搬送費用が発生。	死亡	¥86,490
			死亡	¥122,900
			死亡	¥315,999
			特になし	¥50,979
			負傷	¥102,057
4	富山県 牛岳	下山の際、雪渓から滑り、二度滑落して道迷いとなった。謝礼費用発生。	入院	¥10,000
4	北ア 北穂高岳	朝方、山頂付近から下山中に山から滑落。8時半過ぎに心肺停止の状態が発見された。	死亡	¥392,564
(独) 4	青森 大尽山	帰宅予定日を過ぎて帰ってこないと家族から救助要請。2日後に山菜とりの一般客により発見される。発見の状況から誤って小川に転倒し全身がぬれた結果、急激に体温が低下したのではないかと推測される。死因は低体温症。	死亡	¥248,402
(独) 4	神室連峰 火打岳	日没による焦りより雪の斜面にて転倒。GPS携帯を紛失したことによる道迷い。ピバーク5泊あり。山仲間と地元山岳会パーティーにより発見。人力担ぎにより登山口まで下山、最寄医療機関へ収容される。凍傷あり。	負傷	¥244,326
5	北ア 明神岳東稜	ロープを使う地帯を抜け、ロープなしで安定した箇所まで移動しようとしたらバランスを崩して滑落した。	負傷	¥287,016
(独) 5	富士山	下山中に滑落。付近登山者より救助要請。救助活動後、5合目付近にて死亡が確認された。	死亡	¥222,980
5	北ア 白馬乗鞍岳	振子沢にて蓮華温泉への滑走中転倒、その際ねん挫し行動不能となる。	負傷	¥136,136
5	北ア 奥穂高岳	下山中小豆沢付近で残雪に足を滑らせ50Mほど滑落。その際自身のピッケルにより顔面裂傷。	負傷	¥89,905
(独) 6	鳥海山	事故発生日の17時頃、本人から宿泊予定だった施設に電話でキャンセルが入る。その際に、元気そうな声で「雪渓から滑落して腕を打撲したが足は大丈夫なので自力で下山する」等を伝えてから連絡が取れない。現在も捜索活動が行われている。	不明	¥3,300,000
(独) 6	北ア 笠ヶ岳	笠ヶ岳山荘を6時頃出発し笠新道を下山途中から行方不明となる。警察による捜索が打ち切りになり、現在も主に有料救助隊による捜索が行われている。	不明	¥3,300,000
7	奥多摩 水根沢	水根沢を遡行中、チョックストーン4mトイ状滝から滑落して、右膝を骨折した。	入院	¥9,720
7	八ヶ岳 硫黄岳	登山ツアー参加中 硫黄岳より下山中に浮石に乗ってしまい転倒。その際、右足首腓骨・脛骨骨折。	入院	¥4,136
7	南ア 観音岳	登山中浮石にのり転倒、後背部強打。その際肋骨を4本骨折、肺挫傷する。県警ヘリによりピックアップ、医療機関へ収容される。	入院	¥22,338
8	湯槍曾本谷	滝を登はん中足を滑らせ滑落。東部、腕を強打。顔面、前頭蓋底、左手首骨折。	入院	¥156,770
8	八ヶ岳 硫黄岳	登山道を歩いていたが脇に赤ペンキを発見、近道と思い入り込み道迷い。2名共同遭難。	特になし	¥50,720
			特になし	¥50,720
(独) 8	北ア 西穂高～奥穂高間 天狗岩	西穂高から奥穂高へ向かう途中、ガスが発生したため岳小屋へ降りるコースへ変更する事を決め、その旨の連絡を家族へする。その後の行程で誤って携帯、ヘッドランプ等が入っているザックをおとし回収不能となる。回収を試み時間も消費してしまう。その後家族から携帯へ着信があったがザックの中に入っているため応答不能。そのため家族から警察へ救助要請。下山中に遭対協と20時ごろ合流し付添下山。	特になし	¥69,770
(独) 8	白山	登山口、テント場、下山日早朝に家族へメールをしていたが下山連絡が無かった。翌日は携帯へ電話するが呼び出しのみ。さらに翌日家族より警察へ救助要請。警察、消防、消防団による捜索が続けられたが発見に至らなかった。一旦捜索は打ち切れ断続的にヘリによる捜索に切り替わる。また民間救助隊での捜索も開始。その中で登山者より警察へ谷底で目撃情報が寄せられる。目撃情報の確認のため現場まで救助隊が出動。沢で発見、本人の装備品を回収しつつ県警ヘリから視認用にピンクテープを貼ってその場を離れる。発見現場は携帯電話圏外であった。事故発生直後は呼び出し可能だったことから尾根から滑落し台風などの大雨により流されたと考えられる。	死亡	¥619,132
(独) 8	北ア 槍ヶ岳北鎌尾根	2泊3日の予定で中房温泉より入山。下山予定の翌日家族より救助要請。民間救助隊による捜索も行われている。2019年9月に有料救助隊により北鎌沢左俣にて本人のものと断定できる遺留品が発見され、警察も捜索活動を再開している。	不明	¥3,300,000
8	八ヶ岳 東天狗岳	白砂新道を下山中に転んで動けなくなった。右腓脛骨骨折。	入院	¥93,640
8	北ア 白馬岳	白馬岳より白馬大池を経て棚池登山口へ下山中に、雨で濡れた岩でスリップし転倒した際に頭部を負傷した。	負傷	¥63,720
(独) 8	北海道 十勝岳	悪天候で道迷いのため本人が救助要請。当日は天候が悪く、発見出来なかった。翌日早朝に発見された。死因は低体温症。	死亡	¥148,958
8	北ア 北穂高岳	北穂高岳から下山中、右足でつまずき、左足を踏ん張ったが踏ん張りきれずそのまま50M程滑落。体を強く打ち死亡。	死亡	¥519,588
8	谷川連峰 朝日岳	山頂からおよそ1キロの新潟と群馬の県境の登山道から滑落。登山道から100m下で発見され、警察のヘリで救助された。	死亡	¥370,850
8	北ア 燕岳	登山中に脱水症状により歩行不可能となった。	診療	¥125,916
8	丹沢 大山	登山中、虚血性心疾患により死亡	死亡	¥110,022
8	富士山	吉田ルートで下山中、3,100M付近で転倒、その際左足首を骨折する。クローラー車にて搬送される。	入院	¥30,000
9	八ヶ岳 天狗岳	下山完了連絡不達により所属山岳会が救助活動を開始。その後本人より連絡があり救助活動終了。	特になし	¥15,169
9	日光 温泉ヶ岳～根名草山	金精峠から入山し温泉ヶ岳分岐より根名草山へ向かう途中で笹に足をとられ転倒。その際左足首を骨折する。警察へ救助要請、ヘリが来るが頭上に来るがガスが濃い為引き返す。警察、消防、沼田谷川警備隊により金精峠まで人力搬送後、金精峠にてガスが上がったためヘリにてピックアップ。	入院	¥15,033
9	北ア 槍ヶ岳北鎌尾根	アンザイレンで行動中、前方を歩いていたパートナーが足を滑らせそれに引っ張られる形で滑落、死亡。	死亡	¥400,000

裏面もごさいます。ご参照ください。

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
9	北ア 前穂北尾根	3名パーティーで北条・新村ルート登はん終了後、下山中に道迷い。途中、雨が降り、次第に強くなっていく中で足場の悪い所を移動中に岩とともに1名が滑落。救助要請。3名共同遭難、2名jRO会員。	特になし	¥102,349
			特になし	¥102,350
9	北ア 涸沢	朝7:30頃、涸沢ヒュッテテラスの階段でバランスを崩し転倒。涸沢から100Mほど下山したところで行動不能となる。付近登山者経由にて涸沢ヒュッテへ救助要請。救助隊員と合流後、ヘリにてピックアップ。尾てい骨2ヶ所骨折。	入院	¥84,434
9	八ヶ岳 天狗岳	天狗岳から下山中、黒百合ヒュッテの目の前のガレ場で転倒、左肩脱臼、黒百合ヒュッテへ救助要請。事故発生4時間後、県警ヘリにてピックアップされる。	負傷	¥16,416
10	北ア 前穂高岳	前穂高岳より下山中、つかまった岩が崩れておよそ2メートル下に滑落したうえ、落下してきた岩の下敷きになった。県警ヘリにて最寄り医療機関へ収容されたが死亡が確認された。	死亡	¥285,637
10	北ア 下ノ廊下	十字峡付近で登山道から滑落したと付近登山者より山小屋へ、山小屋から警察へ救助要請。防災ヘリにてピックアップ、医療機関へ収容されたが死亡が確認された。	死亡	¥371,284
10	南ア 甲斐駒ヶ岳	登頂後、六合目小屋までの下りで左足をひねった状態で着地。その際、ヒザの靭帯断裂、半月板損傷し歩行困難となる。翌日県警ヘリにてピックアップ。	負傷	¥23,118
10	日光 中禅寺湖南 黒槍岳	千手ヶ浜へ下山中、標高1400M付近のトラバース道に倒木があり、乗り越え損ねて谷に滑落。その際、頭部や顔面、足に挫創。一部骨折を負う。同行者とともに湖畔ロッジまで下山し救助要請。救急車の入れる所までロッジの車で送ってもらう。	入院	¥3,564
10	万太郎山 井戸小屋沢	井戸小屋沢の頭付近にて滑落。付近登山者により救助要請。ピバーク1泊。頭と腕の挫創、数か所骨折、7日間の入院。	入院	¥250,000 ★
10	北ア 穂高岳	ザイテングラート中間付近にてスリップし滑落。意識不明になり付近登山者、山小屋関係者により救助要請。気が付いたらヘリの中だった。	入院	¥90,640
10	北ア 槍ヶ岳北鎌尾根	低体温症により行動不能となる。ピバーク一泊あり。	特になし	¥156,319
11	南ア 雨乞岳	山頂付近にて突然倒れる。同行者により心臓マッサージが行われ、ヘリにて医療機関へ収容されるが死亡が確認された。	死亡	¥212,720
12	宮城県 舟形山	泉ヶ岳から舟形山山小屋南方300Mの登山道脇にて悪天候による道迷い。家族により警察へ救助要請。翌日ヘリにて発見、死亡が確認された。	死亡	¥55,980
12	大菩薩嶺	登山中に転倒、その際右足すねを骨折する。消防により人力搬送。	入院	¥11,296
12	北ア 北方稜線 池ノ平山	その日の行動終了後、足の凍傷に気づき自力下山は不可能と判断、救助要請。天候不良により7日後に県警ヘリにて救助された。2名共同遭難のため按分。	負傷	¥51,463
			負傷	¥51,463
12	八ヶ岳 阿弥陀南稜	アイゼンで負傷し行動不能となる。民間救助隊と同行者の付添で下山。	負傷	¥50,000 ★

2018年度補てん金額合計

¥18,206,148 ※1

2018年度事後分担金確定額および精算額について

2018年事後分担金の確定額は、上記実績表通りの補てん金お支払い状況と会員の方からの事後分担金お払込み状況により、お一人当たり200円とさせていただきます。

これに対し2018年以前にご入会の会員の方は既に300円の事後分担金をお支払いいただいております。

このため100円を返金させていただきますが、2019年度事後分担金としてお払込みいただく際に相殺処理させていただきます。ご了承をお願いいたします。

相殺後の金額は2019年度事後分担金額をご参照ください。

2018年度事後分担金支払い状況	口座請求額	振替不能額	お支払込額
1月1日~9月30日口座請求実績	¥25,521,900	¥2,712,900	¥22,809,000 ※2
10月1日以降請求予定金額 (口座振替・クレジット・その他含む)	¥2,452,000	¥255,750 ※3	¥2,196,250
合計	¥27,239,400	¥2,884,650	¥24,354,750
2018年度補てん金額	¥18,206,148 ※4		
超過額：A	¥6,148,602 ※5		
事後分担金お支払済み人数：B	81,183 ※6		
事後分担金精算額：A/B	¥100 ※7		

※1 お支払補てん金総額
 ※2 郵便振替支払い含む
 ※3 過去実績より約10%と推定
 ※4 受付済み未請求事故5件(★)を含む。※1と同じ
 ※5 ¥24,354,750 - ¥18,206,148
 ※6 10月末日までの会員数および11月以降予定人数
 ※7 ¥75.7円を切り上げ